

社会医療法人 大成会 福岡記念病院 沿革・概要

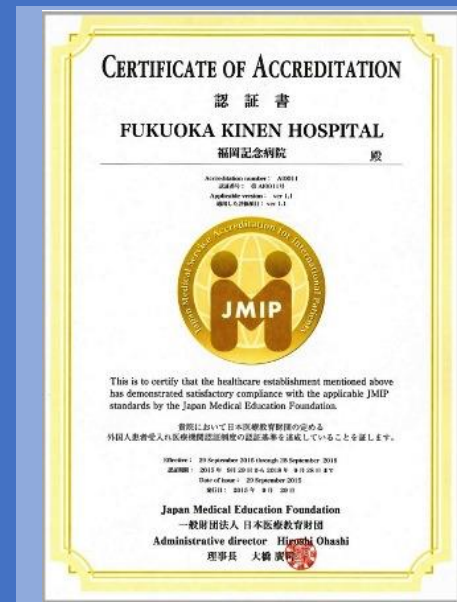
地域住民が求める安全で信頼される医療を行う



社会医療法人大成会 福岡記念病院
FUKUOKA KINEN HOSPITAL

TEL. 092-821-4731

〒814-8525 福岡市早良区西新1丁目1番35号



国際医療担当室長



タパアルジュン



福岡記念病院 理念

地域住民が求める

安全で信頼される医療を行う

基本方針

患者様中心の医療

患者様の人格・権利を尊重します

診療内容を説明し、納得された医療を行います

適切な医療水準

専門知識・技術の修得に努め診療の質を高めます

根拠・医の倫理に基づいたチーム医療を行います

地域との積極的な連携

医療連携を図り、地域の健康増進に寄与します

地域救急医療の中心的役割を担います





沿革

- ・ 1959（昭和34年） 大塚外科医院を開設 病床数19床
- ・ 1964（昭和39年） 医療法人大成会設立
- ・ 1965（昭和40年） 福岡記念病院開設、病床数76床
- ・ 1966（昭和41年） 病床数107床に増床
- ・ 1967（昭和42年） 救急告示病院 指定
- ・ 1968（昭和43年） 病床数144床に増床
- ・ 1972（昭和47年） 病床数156床に増床
- ・ 1977（昭和52年） 地下1階、地上5階建て病院（南館）完成
病床数206床
- ・ 1978（昭和53年） 病床数220床に増床
- ・ 1990（平成 2年） MRI（0.5T）、体外衝撃波結石破碎装置 設置
- ・ 1993（平成 5年） 地上7階建て病院（本館 74室220床）完成
- ・ 1994（平成 6年） 血管造影室 設置、看護師寮完成（5階建て 56室）
- ・ 1996（平成 8年） 看護師寮完成（4階建て28室）
- ・ 1998（平成10年） 脳死による臓器提供病院 認定



理事長 黒田 康夫



院長 舩元 章浩

- ・ 1999（平成11年） レクセルガンマナイフ設置
- ・ 2004（平成16年） 基幹（管理）型臨床研修病院指定
- ・ 2005（平成17年） 電子カルテ導入
- ・ 2006（平成18年） D P C対象病院 認定
- ・ 2007（平成19年） 福岡中央総合健診センター 開設
救急救命士による気管挿管実習病院
- ・ 2008（平成20年） 管理棟（8階建）完成
外国人医師臨床修練指定病院
社会医療法人「救急」 認定
- ・ 2009（平成21年） I C U ・ C C U 6床 開設
看護師百道寮 完成
院内助産所・レディースフロア助産師・外来 開設
インドネシア・フィリピン・ベトナム人看護師候補者受入施設
- ・ 2010（平成22年） 院内がん登録 開始
- ・ 2011（平成23年） 日本救急医学会 救急科専門医指定施設
細菌検査室、病理検査室 NST設置
- ・ 2012（平成24年） タイ「バンコク病院」と提携契約
- ・ 2013（平成25年） 社会医療法人「災害医療」「へき地医療」認定
- ・ 2014（平成26年） 病床数 239床 地域医療支援病院



- ・ 2015（平成27年） リニアック棟（5階建） リニアック装置導入
福岡県肝疾患専門医療機関
通所リハビリテーション開設
国際医療担当室開設
外国人患者受入れ医療機関認証制度（JMIP）認証
HCU（12床・6床）開設
手術室4室増室
- ・ 2016（平成28年） ジャパンインターナショナルホスピタルズ（JIH）
DMAT派遣（熊本地震）
社会医療法人大成会 法人本部
- ・ 2017（平成29年） 3.0TMRI装置導入
久留米大学 教育関連病院
総合診療専門医研修施設
理事長 黒田 康夫 就任
福岡記念PET・健診センターへ名称変更
- ・ 2018（平成30年） 腹部大動脈ステントグラフト実施施設
福岡・糸島区域地域医療構想調整会議
病床機能分化連携推進部会にて「急性期病院」



- 病床数 239床（一般病棟：5病棟、
I C U ・ C C U 6床、HCU12床・6床）
- 職員数 680名（医師 常勤67名、非常勤50名） R4.11.1時点
- 救急告示病院
- 地域医療支援病院
- 福岡県災害拠点病院
- 臓器提供病院
- D P C 対象病院
- 日本医療機能評価機構「一般病院2、救急医療機能」
- 労災医療、生活保護医療、原爆医療、結核医療





診療科目 (38診療科)

救急科

外科

整形外科

脳神経外科

大腸・肛門外科

消化器外科

心臓血管外科

血管外科

肝臓外科

脊椎・脊髄外科

乳腺外科

内科

脳神経内科

循環器内科

消化器内科

消化器外科

糖尿病・内分泌内科

感染症内科

呼吸器内科

肝臓内科

リハビリテーション科

リウマチ科

皮膚科

形成外科

小児科

精神科

泌尿器科

婦人科

眼科

耳鼻咽喉科

放射線科

麻酔科

臨床検査科

病理診断科

歯科

歯科口腔外科

総合診療科

集中治療科



高度医療機器（主なもの）

- 定位性放射線治療装置（レクセルガンマナイフ）
- リニアック装置
- 体外衝撃波結石破砕装置
- 320列、80列マルチスライスCTスキャン
- 高気圧酸素治療装置
- 磁気共鳴画像診断装置（MR装置） 3.0T 1.5T
- RI診断装置（ガンマーカメラ）
- 血管造影撮影装置 2台





病院とは

◆**診療所・病院**（病床が20床未満であれば診療所、20床以上であれば病院）

◆**病院**

- ✓ **三次救急**（重篤な救急患者の対応・救命救急センター）
- ✓ **二次救急**（手術や入院が必要な、症状の重い救急患者対応※病院輪番制）
- ✓ **一次救急**（初期救急）比較的症状の軽い患者必要に応じて、上記の医療機関へ紹介を要する

◆**回復病院**

上記の医療機関で治療を終えた後、回復の為に入院する医療機関、リハビリテーション病院等



患者情報

- 診察申し込み書（特定療養費の説明200床以上の病院）
- 多言語による問診（必須は英語、その他は医療機関が必要とする言語）
口頭で説明できる体制がある事望ましい
- 身分証明書（パスポート・在留カード・学生証の写し）
- 国籍・宗教（医療制限行為）
- 緊急連絡先（対応可能な言語）
- 支払い方法（現金、カード決済、保険使用（旅行保険））



診察時に欠かせない情報

- **主訴**（いつから、理由（心当たり））
- **既往歴**（持病・手術等含む）
- **アレルギーの有無**（食事・薬）
- **内服薬**
- **妊娠の有無**
- **付き添い**（家族・職業）

ポイント：医療に使える5W1Hとは、「When（いつ）」
「Where（どこで）」「Who（だれが）」「What（なにを）」
「Why（なぜ）」「How（どのように）」





情報伝達・コミュニケーションの考え方



身体仕組みと疾患について



身体仕組み

人体の臓器の分類

循環器・呼吸器・消化器・筋・骨格系・腎泌尿器・内分泌・代謝系器官・脳・神経

疾患の理解

腫瘍（良性・悪性）、
感染症（細菌・ウイルス・真菌・寄生虫）、
細胞の働きの低下による疾患（高血圧、糖尿病、
動脈硬化）、アレルギー、外傷、先天性異常

治療の理解

手術療法・放射線治療・化学療法・薬物療法・食事療法・運動療法・リハビリテーション療法等



通訳者

医療従事者と患者の間



医療通訳者として必要な心構えや知識

◆患者との心理的距離に注意する

患者の情報をより多く得るために会話やカウンセリング受けることもありますが、あんまりに親身になりすぎて個人的な会話にならない様に注意しましょう

◆簡潔に話せるようにしておきましょう

なるべく短く分かりやすく簡潔にまとめましょう

◆患者自身が自主的に治療に関わるために

「中立」、「公平」を守ることを常に心に留めておいてください。自立性の尊重を決して忘れない事（患者様の権利）*説明をする、説得しない

◆通訳者の言葉遣い

患者や医療従事者の会話は全て通訳する事（差別的なニュアンスや乱暴な物言いまで同じように再現する必要はありません）

◆診察終了時（退室時）のポイント

「何か質問はありますか。」「先生にお聞きしたいことありますか？」



宗教・主義で食べられない食品

- イスラム教：豚肉・アルコール・発酵物（漬物・紅茶）
甲殻類・貝類・イカ・タコ等
- ヒンドゥー教：牛肉・豚肉*
乳製品と肉類は一緒に食べない
- 仏教：肉・魚介・卵・乳製品・アルコール・ネギ類等
- ユダヤ教：豚肉・うなぎ・あなご・甲殻類・貝類・いか
タコ・くじら・その他（ ）
乳製品と肉類は一緒に食べない
過越祭の時はイーストを使ったパンを食べない
- キリスト教
セブンスデーアドベンチスト教会（卵乳菜食）
肉・魚・アルコール等
正教会
齋戒の日（水曜日・金曜日）のみ
肉・魚介・卵・乳製品・アルコール・オリーブオイル等
モルモン教
カフェイン入り飲料・アルコール等





イスラム教徒への留意点

・イスラム教の制約への注意点

イスラム教では、女性が夫以外の男性に肌をさわらせるのは宗教上許されないことです。そのため、女性患者の場合は女性医師を強く希望することになります。

*ただし、生命の危険があるときや意識不明の場合は、許されているそうです。

・お祈りとラマダンの留意点

イスラム教徒は、通常、毎日早朝から就寝までの間に5回、メッカの方向に向かって10分間程度のお祈りをします。患者さんからメッカの方角を聞かれたときは、真北と真東の方角を教えてあげると、自分でメッカの方角を割り出すといえます。お祈りの場所は、病棟であれば病室の片隅やベッドの上で行って良いそうです。

*年に1度1ヶ月間日の出から日没までラマダン（断食）、病人を除く。当院の職員はロッカールーム、会議室使用

・日常行為が宗教と結びついていること

イスラム教は、女性のスカーフ着用が宗教上の意味があるように、日常の行為と宗教が結びついているため、日常行為を変更することができませんし、そのために他の宗教に増して厳格に映ります。イスラム教徒に対する対応を間違えると、医療機関内でも小さなトラブルや苦情が起こる可能性があります。

*ただ、イスラム教に由来する行為や制限は、厳格な人とゆるく解釈する人といった人による違い、宗派による違い、国・地方の習慣による違いという3つの違いがあるようです。外から眺める限りでは違いが判然としません。したがって、すべてのイスラム教徒は同じように行うとは思えない方が無難なのかもしれません。



外国人患者の死亡時の対応

- 1.死後の処置（エンゼルケア）
- 2.死亡診断書の発行
- 3.大使館・領事館との調整、日本の行政への届け出
- 4.埋火葬手段
- 5.代行業者への委託
- 6.行旅死亡人の対応
（日本での無縁仏として火葬を行う場合）

ポイント：死亡診断書の発行原本2通必須

- ・火葬許可証用
- ・大使館用
- ・エンバーミングはコピー可





国内イスラム霊園の墓地

現時点で把握している墓地は下記の7箇所である

- よいち霊園（北海道余市町）
- 谷和原御廟（茨城県常総市）
- 多磨霊園（東京都）
- 文殊院（山梨県甲府市）
- 清水霊園（静岡県清水市）
- 神戸市立外国人墓地（兵庫県神戸市）
- 大阪イスラミックセンター霊園（和歌山県）

* 九州では引き受ける墓地がなく、他県への移送となる。しかし、全国でもほとんどないため不可能に近い。 * 大分県検討中



まとめ

◆患者の情報を事前に習得しましょう

（診察時に医師に伝えるべきことを通訳者に対して話してしまう様な質問や話の展開にならない様に注意しましょう）

◆Teach Back で通訳の正確性・患者の理解度を図る。

◆通訳記録（業務日誌）作成

◆チームワーク（決して一人で解決しないこと）

◆医療には**100%**と言う保証がありません。（常にリスクヘッジを考える）

◆感情的にならない（祝福から訃報も）

ご清聴ありがとうございました

救急医療体制の強化を中心に安全で信頼される
医療提供をめざして

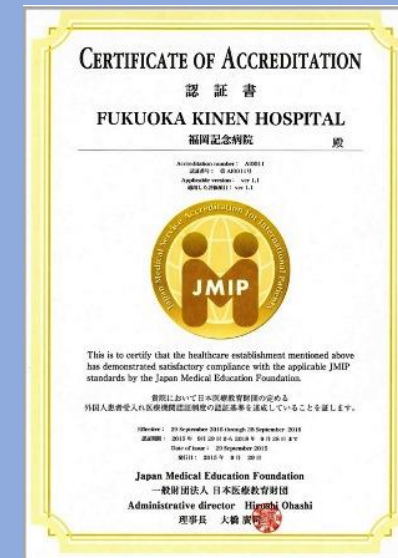


社会医療法人大成会 福岡記念病院

FUKUOKA KINEN HOSPITAL

TEL.092-821-4731

〒814-8525 福岡市早良区西新1丁目1番35号



国際医療担当室長



タパ アルジュン